

本町出身者が札幌で 親睦を図りました

札幌近郊在住の上ノ国町出身者で構成される「札幌上ノ国ふるさと会」（福島久平会長）の総会懇親会が3月18日、札幌市内で開催され、会員や上ノ国町からの参加者など64人が出席しました。

懇親会の中で、本町の特産品7種類を販売したところ商品はあっという間に完売し、「来年は数を増やして欲しい」と要望がありました。

参加者はビンゴ大会やカラオケで盛り上がり、お互いの近況を語り合うなど、終始和やかな雰囲気でした。



地域へのボランティア！

上ノ国町赤十字奉仕団（山崎洋子委員長）が地域への奉仕活動の一環として、2月27日に「かみのくに荘」へ慰問しました。この活動はかみのくに荘の誕生会にあわせて行われたもので、団員による上ノ国音頭や自慢の歌などが披露され、入所者はこの慰問を待ちわびていたように拍手を送るなど楽しそうな様子でした。



さやえんどうの 品質向上を目指して！

農業者の方にさやえんどうの栽培技術向上を図ってもらうことを目的とする「冬期営農講座」が、3月9日農業指導センターで開催され、害虫防除や暴風対策のほか、市場の動向についてなど3名の講師がそれぞれ講義を行いました。

講義では農作業に直結する内容が説明されたほか、講師からは「上ノ国町産のさやえんどうは全国的にも知名度が高いことから、これからの品質の向上に期待しています」と激励の言葉が述べられました。



野生鳥獣等への被害を 食い止めるよう！

町では町鳥獣被害防止計画に基づき、野生鳥獣等による農業被害を防止する取り組みの一環として3月6日役場会議室において「狩猟免許出前教室」（檜山振興局環境生活課主催）を開催しました。

当日は11名が参加され、わな猟狩猟免許受験方法や畑の防衛策のほか、全道の野生鳥獣の被害状況等について学びました。

